英會談

開

山飛行場に巨弾の

雨

下軍

東京における味 東京における味 が山御後に参考

事で急遽東京に引返すことし なつた、同公使は京都ホテル

とも言へない【寫眞は加藤とも言へない【寫眞は加藤

英米好感

村、ダントンサカること自然を放棄し、 なが、更にまるなが、更にまるなが、 ないであること自然であることにませる。

りを暴露してゐる 特へられ抗戦蔣政府の暴體振 特へられ抗戦蔣政府の暴體振 力を暴露してゐる

▲石丸優昇氏(摩校長)同 ▲五井憲槌氏(日新興信祉長 )関都ホテル )関都ホテル )同 本所本語に(満州光學社員 )同

▲佐野政風氏(淺野水産事務)二十九日來京ヤマトホテ

事往來

した情報によば初宗南はさりを暴露してゐる

本日朝刊四頁

國空調整會談に

公使急遽

(日曜月)

常に冷淡で外務人民委員モロトフは未だソ聯の對支援助獲得を主要目的とする質問組に得を主要目的とする質問組にの一次での一般に対しては何等の確定的條件を関しては何等の確定的條件を

なつてある たつてある なつてある

新直系の映西省政府主席彙集 高映西省において最近新たに る映西省において最近新たに

化狀態に甚だ不滿で

蔣鼎文、

胡宗南

0

軋轢激化

蔣政府の弱體暴露

十戦區司令蔣鼎文とこれまた 語直来の中央軍官學校第七分

西

頭

街 街

站

小小

道 道

三四

街

E

酒

中心に移行して來たのは注目やよ廣汎となり、且つ作戦の

作戦の中心地區とみられてゐ

機を撃撃した冒左の如く競表 軍の空中戦に於てドイラ機一 軍の空中戦に於てドイラ機一

ものである、 信職を を中職に於ては英獨兩空軍の を中職に於ては英獨兩空軍の を中職に於ては英獨兩空軍の を中職に於てが、右乘組員四 を中職に於び、ドイツ機一機 をと試みたが、「一名は負傷 をと試みたが、「一名は負傷 をとはなり即 をなり即 をなり即

獨電報を収締る イツ政府は情勢の逼迫に鑑み 十八日より電報の絵園を厳重 にし、各電報毎に配名、發信 なつた名を明記させとこと、

な有力艦隊たらしむべしとの艦隊を摘張してこれを恒久的艦隊を摘張してこれを恒久的

なる言 に海軍

し来國が歐洲動亂を機會 芸楽提出の用意ある旨を 言則をも避けてゐるが近 軍委員長は右につき如何

意見が最有力に擡頭し來り注

の戦略上の弱點であり、突破いはれる、同地帶は獨佛兩軍

英獨空中戰

**『ペルリン廿八日酸関通』西** 

【パリ廿八日發國通】

ガ八日發國通」スカン

オランダに突入す

軍に堤防決潰の暇を與ヘず進撃を完成する▼纏いて電撃作職を用ひる機械化部隊の超スピー潜水艦隊をもつてオランダ、ベルギー海岸を封鎖する▼纏いて電撃作職を用ひる機械化部隊の超スピーツはすランダ進撃に先立ち南方よりの武力干渉を行使するためベルギーの中立を保障する▼英國のオラッはすランダ進撃に先立ち南方よりの武力干渉を行使するためベルギーの中立を保障する▼英國のオラ

援助を阻止す

全職議案の處理、會務機構描 が成果を收めて無事終了し、 策轉換に伴ふ民生の向上と、 第中のでは、 の成果を収めて無事終了し、 の成果を収めて無事終了し、 の成果を収めて無事終了し、 の成果を収めて無事終了し、 の成果を収めて無事終了し、

を 備、合理的な人材の配置を期 し高級職員の異動を行ひ、こ の程部内發令をみた

相原總務科長はその属鍵的手期 しての重要性を有する首都本期 しての重要性を有する首都本

のとして注目せらてれて 展に一段と拍車をかける 本部の强化と、 會運動の 中位をもつて 進み、 適正な 人物の配置をみ、 後の中位をもつて 進み、 適正な

大定、新設開拓科長には催来 本部網務科長の後任には新選 社丹江省事務長の楽画次氏か が定し、新選の本語の中央本

隊擴充

か

ンダ側もド

がこの息づまる空中戦を目撃した 図室軍省は十八日後國通」英 の如く強表した。 図室軍省は十八日ドイツ軍の がイツ機一機が十八日等のファース スコットランドのファース 場所で、フォース港哨近に債 オブ・フォース港哨近に債 オブ・フォース港哨近に債

**豫想される、ドイツ側の對オランこの場合ドイツ軍はライン河とそ** 

ツ市の間にお

境防備

## 自言 【頁二十刊夕朝紙本】

等等等官被服 等年訓練服 十上洋服店 大經路三六號

なある。▲

の旨を指示通達したと呼吸を関することになって中の低温生活運動を関することになってといることになっています。 とて學に

が親達のこの相談を側 てゐた長男君、實で だっ ・だつて「優房」が かも知れんのだから」 いゝだらう、といふと いゝだらう、といふと

しても承知 

は、決して無制限、無標準のはゆるスパルタ式の最佳活ではないし、またいはゆるスパルタ式の最佳活ではないし、またいはんや石炭が不足してある。本まして、本まんするのではないのだ。とまんするのではないのだ。それまでの一つ、大きになったら、フンドシーので、などといるようになったら、アンドシーのではないのだ、それまでの辛税には低温が必要が、などといるよう、ほんしをで決水をあぶる程に暖くしてで氷水をあぶる程に暖くしてで氷水をあぶる程に暖くしていまいのだ、それまでの辛税底させてほしいものである。本に、フンドシーのしたととは勿論先刻指導済みのこととは勿論先刻指導済みのこととは勿論た刻指導済みのことを徹底されなことを徹底されなことを徹底されなことを徹底されなことは勿論先刻指導済みのことを表しているようにはした。

次所、小賣所を設けましたから御利用を願ひますり組合事務所にて御扱致す外左記の通り營業所、石炭御需要の季節になりました、皆樣の御便宜を

新京石炭販賣組合

御注文受付電③ ホーハ五、ニカナ

般御注文に應じ、

出鱈目振りが在西安軍民の間闘の網紀紊亂特に陜西銀行の に傳はるに及び陝西駐屯監察

興安大路營業所、興安大路派出所前

西四馬路營業所、

西

路電②二四九八

電②五六六五

次

所二

の御注文に應じます)

本橋通二

共に程蓄恭中央軍の實力を恃共に程蓄恭中央軍の實力を恃力を持つて表面化しついる。 洛陽を猛爆

第第第第第 六五四三二一

取取取取取取

次次次次次次

本部高級職員編成替

事務に

○○基地十八日 (○○基地十八日 (○○基地十八日 (○○基際 (○○基地十八日 (○)を等に十分○○機の大編録をもつて西牖海線上の頭 海 浴陽をを突襲、敵は高射砲の猛射をを突襲、敵は高射砲の猛射をあ市内外の軍事施設、飛行場の市内外の軍事施設、飛行場の市内外の軍事施設、飛行場の市内外の軍事施設、飛行場の市内外の軍事施設、飛行場の市内外の軍事を始めた。

本.

大 長に夫々枝摺、果進した 長に夫々枝摺、果進した この度の異動は事實上責任 の編成整へであり、今後の 都成と清新潑剌の氣 を注入するものとみられて あるる

王馥泉敦授

三馬

路

道

M

漢に製はれ短刀をもつて殺傷 正年ごろ佛租界ラトール路を 通行中の復旦大學國際學教授 工報景氏は、一名の支那人暴 に残る

立 經

街街路

隆 滁

गा

地

永大溝東軍福與新

和子大用融隆

か近 唆してゐる かったことを示 へることを非常に恐れてゐる かった でしてゐる かったことを示 へることを非常に恐れてゐる にルーマニア政府はり聯が自 對応する共同對策を練る豫定にルーマニア政府はり聯が自 對応する共同對策を練る豫定にルーマニア政府はり聯が自 對応する共同對策を練る豫定にルーマニア政府はり聯が自 對応する共同對策を練る豫定が行ばれり聯の進出に重要のベッサラヴィア要求を援助し、 る ことを非常に恐れてゐる かった かった かった かった はれ頭のボッサラヴィア要求を援助し、 る ことを非常に恐れてゐる かった かった はれ頭のボッサラヴィア要求を援助し、 る ことを非常に恐れてゐる かった はれ頭のボッサラヴィア要求を援助し、 る ことを非常に恐れてゐる かった はれ頭の流見を凝めてる かった はれ頭の流見を凝めてる かった といばれ頭の流見を凝めてる。

は有名な人物であるがは有名な人物であるがは百名な人物であるがは正規に接近してゐたに別に表記してゐたはれるので、この兇行と見いるがであるがはなるので、この兇行と見いるので、この兇行と見いるので、この兇行と見いる。

(作租界プレニエドモンモラントルをもつて狙撃され、附近トルをもつて狙撃され、附近の病院で手當中であるが生命は危篤であるが犯人は未だ逮捕されない 桑折 少將

東

 $\equiv$ 

大 道 街

小小

吉

…けふ着任

値

長伯欝黒木三次、男爵島津忠長伯欝黒木三次、男爵島津忠長伯欝黒木三次、男爵島津忠一氏は三十一日午前十一時四十二分着列車で入京の豫定

貴院慰問團來京

九錢

恐怖

の重慶脱

出談

る婦 近人 況の

逃げ廻る男子を

経て一年振りに放海蘇州へ職場に喘く重慶を去る六月世温風に喘く重慶を去る六月世温風に喘く重慶を去る六月世温風に喘く重慶を去る六月世

行機、昆明から海防まで温越 上海に到着したのであるが重 上海に到着したのであるが重

に如何に映じたか後女の語るに如何に映じたか後女の語る底によれぼ次の如くである。 兵力補充に必死の努力を續 対して家にめないので表面に を襲つてある有様でひ四 なを襲つてある有様でひ四 なを襲つてある有様でひ四 なをして監問し逃げたか後女の語る は捕縛して强制後兵し窮や は捕縛して週間後兵し窮や は捕縛して週間後兵し窮や

民衆、

强制徵

兵に戰

**石縣、宣川、王曲鎭** 所は西安、秋林鎭、

門、蒲城、命陽の十二鎮、東北地區、南郷

し飲望て避毎の着避が、はてさがの米毎めふ食の

て前

東亞經

濟懇談會

農林協議會も合流

十二月五日から開催

を行つたが、これによれば大 ・ 漢口、南洋華僑からも代表の ・ 選覧代表を網羅するほか廣東 ・ 選覧代表を網羅するほか廣東 ・ 本語を見る漢定で今回の主要

要にこれを農業、鑛工業、置 東亜全般に関する事項を協議 東亜全般に関する事項を協議

は郷誠之助男が就任するものつてゐた東亜經濟懸談會長に

ある、

また農業關

て主力を で主力を で主力を になつたと
は十七日次の如く言明をなし は十七日次の如く言明をなし

し長りといい

すことは後來と變らないでま力艦は他の小型快速艦の大きなは富然である。 大船フリント 號 一番 アリント 號

米

ことは富然である 保護と協力を必要と とは常然である。 とは常然である。

案骨子

度米國海軍豫第中には

題は一貫を開催代表

東亞經濟建設と産業分

易、金融、交通の五分科

五分科會

筈に

## 畏 天 皇陛

日盛大な記念

F

行幸

「東京國通」明治廿三年十一 和司法権の獨立を見てから滿 五十年に相當するので、之が 記念式は來る十一月一日盛大 に擧行されるが、天皇陛下に 於かせられては畏くも同日午

前九時半宮城御出門東京三裁前九時半宮城御出門東京三裁 定数表され 一日午前九時宮城御出門、司法部行幸御次第=十一月鼓表された

同九時五分裁判所御着、宮 域法相 以下 在京 七長 官は 域法相 以下 在京 七長 官は 域法相 以下 在京 七長 官は が、全國各 が、本京七長官に再 で、大審院長 御上源へ、大審院長 御上源へ、大審院長 の大審院長 の大等に長

長、司長、科長・豪事官、理夫の通りである、政府側=職夫の通りである、政府側=職夫の通りである、政府側=職 明後八年より徴兵法が 民間側より協和會、民間側より協和會、

國軍士兵の待遇改善

よ一日より實施

軍給與令參議府通過

は尚多少の曲折があるのでは ないかとみられてゐる 

次の如き批評が行はれてをり

黎美松

地政總局、を新設か

『ベルリン廿八日登園通』 が大使を招待し、餘人を遠のけ 別非に近く瞬間する大島駐獨 が大使を招待し、餘人を遠のけ が大きな大島駐獨

ימר

動亂の歐洲 夫**人**等歸連 駐獨公使館王

できた人工書雲さん(愛見四人)、一人はハンブルグ発在滿 洲國總理事館黄主事夫人 東淑 在外使臣の二夫人がある、一早朝入港の鴨絲丸で師連した別から逃れて日本郷由計七日州から逃れて日本郷由計七日 人は駐獨滿洲國公使館王理

人は船中で交々左の如く語つ

伊新國防操化

**笨豫算般表** 

特國丸に乗つてハンブルグ を發力にありませんでした、婦女子 は全部引揚げよとのことで はか、同船の日本の方々にも が、同船の日本の方々にも が、同船の日本の方々にも が、同れの日本の方々にも が、東京を見學して十 も不便なく無事十八日横濱 した。

**央人は哈爾濱、黄天人は** 

信、外地等を寺りすり、編成中に見込まれる筈であり、編成中に見込まれる筈であり、

**米るだけ年内にその見** 地等各特別會計につい

開の修理を終りムルマンスター 対して同船が廿八日夕刻機 なルマンスクより入手せる情 なルマンスの連信社は廿八日 なルマンスが、タス通信社は廿八日 なかで、タス通信社は廿八日 なかで、タス通信社は十八日 なかで、タス通信社は十八日 なかで、タス通信社は十八日 なかで、タス通信社は十八日

るやら促進を圖る意

針であるが、税制政

ズベ

外務等高 合外務等高

反革運動勃發

**兼任外務大臣秘書官** 圓圈向輸出調查

品目追加

【東京國通】關滿支に對し

ルト、帽子、陶磁器(食器室間製品並に浴布、ぼろ、フエ網織物(絹紬を除く)タオル

第二四八號)の改正を行ふ答為工省は來る州日付を以て關する告示(本年九月商工省告示る告示(本年九月商工省告示 出組合に於て十一月一日より 開瀬支向輸出省合統制を實施 しこれに對し商工省は貿易組 も第十入條の規定に基き統制を實施 | | 検つてこれら品目に就ては関 でなるを發動することになった。 度品硬質陶器タイル)合板所用品装飾品及びその他の

旣新

"

オーバ襟一本 三十七圓 カワウ 代用品

F 是非御試し下さい

古 吉 野町二丁目 野 樂路(豐蘭前) ③ = 2 3

地 籍整 完遂迅速を要す 珊 生事業

大島大使、獨に盛す

空相懇談

七億圓程度か 明年度豫算査定終る

に優秀なる現品を約興すること、なり實質上著しく待こと、なり實質上著しく待意の強化を関り家庭に對する施設、響所施設その他の團體施設を

関務總理を委員長とする第一 度確立の爲め去る二十六日張 日満軍入會館に同委員會幹事らに二十八日午前十時半よりらに二十八日午前十時半より 「東京國通」大蔵省主計局に おいて編成を進める明年度豫 第はこの程七十億圓を超ゆる 等はにこの程七十億圓を超ゆる 各省要求概算に對し一應査定 を終了したので今後更らに主 計當局で檢討を加へ十一月中 間豫第省議を開き各省との折 個談に附議する豫定である、

ト 登三分の一見當の十一億に四億に上る各省の新規要求は四億に上る各省の新規要求は

、八億圓程度に査定してみ、七億圓と合して總額四十、七億圓と合して總額四十

米建艦方針變更

建造中山

1(海明)

軍新規國防計畫費の如く互顧 見られてゐる は加豫第については萬やむを るので一般會計 得ざるものゝ他これを認めな 明年度の新規公司 ので一般會計 は加豫第については萬やむを るので一般會計 は加豫第に巻して全力を消して 保し得られるもの

優闘以内に止るものと の新規公債發行額は恐 の新規公債發行額は恐 なを深めて州億圓を確 圓以内に止るもの れるものと豫想され

多數幹部銃殺さる

いいます。 いいますが、 ないが、 ないがが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないがが、 ないがが、 ないがが、 ないがが、 ないがが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 、 米新中立法

一、現行中立法中の自動的武器禁輸條項を撤廢し交融國際業輸條項を撤废し交融國際港に輸送することを禁止すってごの例外の場合を除き、映國汽船が交融國際港に輸送することを禁止する。ことを持つ、ころのの大い、ころのの大い、ころのの大い、ころののよい。

マンチントン廿七日漫画通 一、本法は大統領または米國 一、本法は大統領または米國 が職等状態の存在を認 の通りである たの通りである 本法は大統領または米國 記輸品の ・ つぎの別外の ・ つぎの別外の ・ できるが ・ できるを ・ できるが ・ できるが ・ できるを ・ できるが ・ できるを ・ できるを ・ できるを ・ できる ・ で

のたかが察知される、この間 めたかが察知される、この間 なく一發の高射砲の反撃する なく一發の高射砲の反撃する なく力が荒濫の羽搏きに委せ たるを立證するのみであつた かくて今や西北角の敵軍はわ かくて今や西北角の敵軍はわ が空襲下に吸々競々たる有機 紫煙花

○基地廿八日瓷國通」陸 の精鋭佐瀬、鈴木、松山 内藤、竹下、木村の各 は去る十日作戦開始以來 は去る十日作戦開始以來

陝西全省に

日本經濟學界の機成土方成美市本經濟學界の機成土方成美術がある。一十九日鳴線丸にて完成のため二十九日鳴線丸にて完成のため二十九日鳴線丸にて一月一日まで東京十一月一日まで飛在撃天に向ふ輩定 土方博士來京

を辿りつゝある

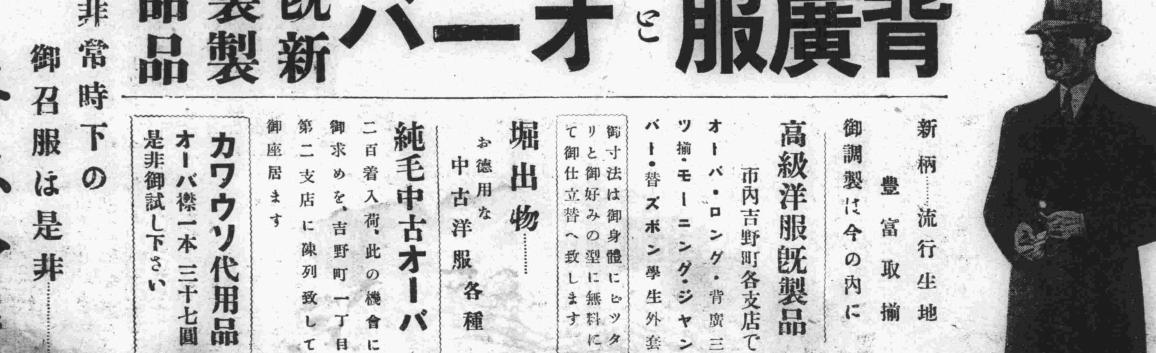
日本と同様措置 蒙疆の對外爲替

ルボ色ルートの基<br />
熟西に赤色ルートの基<br />
熟西

され北絶無比の猛爆 を壓する大兵團群を を壓する大兵團群を

行るない。 イントンフェン・ のにはない。 のにはない。 のにはない。 のにはない。 のにはない。 のにはない。 のにはない。 であり外科の側別のは、 であり外科の側別のは、 であり外科の側別のは、 であるが、 のにも押いるである。 であるが、 のにも押いるである。 であり外科の側別の大家である。 であるである。 であるである。 であり、 であるが、 でが、 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 でが、 であるが、 でがなが、 でがなが、 であるが、 でがなが、 でが

第二支店 第一支店



石炭配給の

圓滑化要望

**同町長會議** 

## 馬よ有難う。軍馬祭行事賑ふ 文と 漢の事は既報の通りであるが 京岐阜縣人會ならびに本社後 京岐阜縣人會ならびに本社後 京岐阜縣人會ならびに本社後 で事は完著後援會主催新 日の でであるがに本社後 酒井雲若

のころし、三日はま 日はまるで季節

風景を書き出してな 関東に下降するだら。 ある

炊事の間に…

團體優勝中銀に

寒に入つたが急速に下降し出した氣温は二十九日午前七時 過ぎに至り遂にマイナス三度 四分を示すに至り、うす曇り の空にあけ、日中の最高でも のでにあけ、日中の最高でも だっスー分といふ寒さだ、 震え上つた市民は一齊にスチ でした薬薬を入れ媒質が空を かって意よ本格的な多らしい 

大同公園を出發した今村部隊 場會の二百五十餘騎は憂々の 域内に至り日本橋通りを驛前 で出でヤマトホテル前より國 に出でヤマトホテル前より國 に出でヤマトホテル前より國 に出でヤマトホテル前より國 では出でヤマトホテル前より國 では出でヤマトホテル前より國 では出でカルは勇士なる吹奏 

その中央前には曾て滿洲事變 ・ は我群の勳功を樹て將兵の金 ・ 教育神社の神馬「久典號」が ・ 見えぬ眼を瞬きながら鬱かに ・ 見えぬ眼を瞬きながら鬱かに

雜誌

折柄三寒、「こりや

寒

い」の連發

世九日午前十一時四十二分へ て新京 は中沖同協會理事に引率され に旅装 は中沖同協會理事に引率され に旅装 に対する 出迎へ

に旅装を解き、豊食後打捕つ に旅装を解き、豊食後打捕つ のでいた大々割當の旅館 のでいた大々割當の旅館

なは深田君のほか作家で同 行したのは「文藝春秋」の 利君、セルバンの春山行夫 男君、セルバンの春山行夫 男子、セルバンの春山行夫

男生は奉天、

女生は大連に

時から園山大連音樂學校長他時から園山大連音樂學校長他の選拔校だけに容

来る十一月五日全日本コンク ・ ルに参加マイクを通じて新 京放送局から大陸つ子の意氣 を示すことになつてゐる【寫

以来首都警察職では鐵材不足 の折から一日も早く犯人を檢 撃せんものと活躍してゐるが 撃せんものと活躍してゐるが 事中が二十八日午前 二時須里仁大路二〇二號滿炭 本社建築中の高岡組現場に於

华光澤 孝 澤

光光

光

华光澤

無光澤

最高級美術人像用

大迪市大山通 (\*) 4601

硬調調 調調

硬 調

人像用

中間調

中間調

中間調

頃にない見もの▼然し細 がお歳ですからあたりま がお歳ですからあたりま がお歳ですからあたりま

薄手{ B 3 B 5

厚手F

柞農株式會社表ドアー

金具泥棒出沒

大連下藤校 大連下藤校 本天平安校、

校、大連聖德校 新京八島校、 新京八島校、 本

愈よ今夕朝日座開演

想されてゐる 想されてゐる 想されてゐる 是氣よき賣行きを示してゐ 是氣よき賣行きを示してゐ るさらであるから盛況を豫 想されてゐる

は専ら愛工作の輸入、製造、計算を終った満洲産業制立との表別をは二十八日午後六時中からヤマトホテルで各方面を招いては二十八日午後六時中からヤマトホテルで各方面を招いている。

大新社招宴

の統制に當らん

女女

係員

增

員 (二部制)

タイル石材五百國(一車分) 地で、劉は身分の地位を利用 して議映現場に搬入して來た して議映現場に搬入して來た

二 東邊道開發會社吉野寮札入 れ遺失 吉野町三

二階 - 五號居住藤原明(二八) さんは二十七日午後十時頃長 を座横露路邊げで二百圓在中 の利入れを落したのに氣付き 

現場居住清水組佐官頭劉忠上生北新京特別市南新京滿田生北新京特別市南新京滿田生北新京特別市南新京滿田生北新京特別市南新京滿田東省

全滿珠算競技 火花散る

指頭

れる國

下三度四

映純八現庄日

率協會が國務總理杯を賭けて 催した第一回珠算叢技大會は 十九日午前九時から新京軍人 會館で全滿よりぬきの日滿露 長丁鑑修商工公會々頭、會長 長丁鑑修商工公會々頭、會長 星野總務長官等名士多數臨席 の下に開かれた

健資料を求めるため満洲能力を行っている。

でられる」といれるオーヴァ 洋服工場に泥棒

た一行、何れもオーヴァ丁度三寒に入つた國都に

の襟を立てゝ「これ

滅旅行が思ひや

南側便所の施錠をこぢあけて一二一洋服工場(建部永吉)

の深田久彌君など「皆んな伊

達の薄着なのでやられるぞし

皮品二十數點八時價四千餘圓 を窃盗してゐるのを發見四道

積目下使用中 ラツク

三笠町二丁山 河

に回う書

話③六九九二番 至急譲る

フオード二順



ŀ 右希望者は本人履歴書憑帶御來談乞

面會日時卅一日午後五時まで

會合

豐樂劇場

直家用出

新京自動車學院 新京自動車學院

至急募集希望者は 邊道通化行

電話(三)三〇二三番 さん 急用

ā

請

致しました御進物用に又一とゝきのコップ酒の醍醐味 扱て此度下記に銘酒の卸小賣並にコツァ酒の店を開店 向寒の折柄各位様の御健康を祈上ます 是非皆樣御利用の程をお願ひ致しま 披

銘

ッ

◆第一回懇談會、御家庭─皆樣─多數御來會をお待致し石炭、電氣、瓦斯、水道、バス、其他生活必需品等に石炭、電氣、瓦斯、水道、バス、其他生活必需品等に同人。 ◎滿人汽罐士に對する實地燃燒指導

第一回石炭節約强調週間

目下犯人厳探中である 同一犯人であると目星をつけ 同一犯人であると目星をつけ

類 温 最低等下三度四 きのふ 最高 ○度二 きのふ 最高 ○度二

て發生した租出があつた を検證したが犯人は満人一 を検證したが犯人は満人一 して西裏側中央入口より使 して西裏側中央入口より使 一大ドアーに取削けてあつた 金菱丁双一個三十七圓を では急遽現場 を使用

を求め種々懇談した、町會長 側は石炭供給不足の事實は諒 とするが之が配給の関滑に行 か取のは機構の上に大なる缺 格があるからとし。色々質例 を暴げて改正を希望し、組合 側も誠意を披瀝鮮明に努めた が、大體に於て左の點に意見 の一致を見、組合側は出来る 限り希望に副ふやう努力する

別市本部

午後一時より

白名醉松進 竹鶴蘭心梅軍

古野町銀盛

\*た裏切つたやつだ、どうで裏切り、いまも西塔靖吉で裏切り、いまも西塔靖吉

は、シャルパンテイエは、シャルパンテイエはくそ笑みつゝ親ふ

虫

美郎

さうして 就に、 ・ な夢げさで訪れて 来た。 ・ な夢げさで訪れて 来た。 ・ なが、 フトの男は 豊面され、 ・ 情音を對峙する、 向ふが、 ・ はの壁に立たされた。 相手の銃口に、口を指告の持つ一致が、おしかし、勝敗は、おしかである。 を聴かせ

れ、味ふんだ、いゝか。うまやる。』 

水堂鍼灸院

神学 一个 人

9

野的資出り棒山

わかもと

金融

無便スス炎

人横濱屋

看

散書、一

御愛用でき

蒙四九路徑 大京新 **暑三六一二(2)話**震

町下電3四七



お茶道具はお茶道具は な茶道具は

それから、その男の亢奮を それから、その男の亢奮を でしまぶと、あとは、彼がひ とりこの室に残された。 にんやりと顎に甲をかひ、 かれは、柱やかまちに、絞首 かれば、柱やかまちに、絞首

古は、客易に動く男ではつたか……、さすがこれ、おのムく動像をおさへることが出來なかつた。しても、前途が、悲惨なしても、前途が、悲惨な 額に禁されるか しかし月子の呼吸に、この室の空氣はとも()かよつて室の空氣はとも()かよつてを前へにした、苦痛のなかにあらうとは思はれなかつた。
『オイ黄淵。』
とその男の名を呼んで……
教賞は、知らずにほころんでくる、微笑をおさへることが
出來なかつた。

(日曜月)

10 (大阪) 國民歌議 (中山正男・原作、水豚 (中山正男・原作、水豚 (中山正男・原作、水豚 (中山正男・原作、水豚 (中山正男・原作、水豚 (中山正男・原作、水豚 (中山正男・原作、水豚 (中山 ) 東 下時局

男女の職業紹介 第集 日、満人 男女の職業紹介 第二五〇元 別都紹介所置る二五〇元 三六番个

おっか

東一條通三九五三

堂

宋松接骨院

電話賣買

見電話

永柴町三ノーー/四 八島小學校前 電3・3 1 3 7 種

央通り

交換自由」 交換自由」 一質 衣 裳 八龍

あんま

酒藏

出)中央コドモ劇場

六、二五(東京)コドモの新聞

六、二五(奉天)趣味講演「
六、二五(奉天)趣味講演「
た、〇〇(東・新)ニュース

・新京)告知事項・今晩の

(東京)コドモ劇場 中コドモ劇場 中国が発動の時間、十 子供の時間、十 子供の時間、十 子供の時間、十 子供の時間、十 で並演

海灣野三丁草一八番地 東三條通交番灣 市光堂療院 9 教新養格10五世 規川書進呈 別タイプライター イピスト養成 **州直賣所** 午後、 業

松艺



新

京

湯タンポー寝爐

月角

販賣













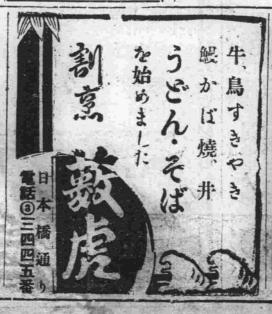
諸手續交渉を代行す

地路原属手續一切秘密數守迅速正確 與亞鑛業事務所













シャルバンテイエは、靖吉とその男の餌を、等分に見比とその男の餌を、等分に見比 この男には五發の彈丸を與へれる。不可には、一般の彈丸、不可には、一般の彈丸、不可には、一般の彈丸、

であかり見やつて、 『大將、こんどこそは、空弾 「大將、こんどこそは、空弾 も、五数あれば、一つくらぬは……。ハ、、、、」 端吉は、ちらりと叙賞を見たが、なにも云はない。 死ぬ、死んでゆくと云ふ考へが、いまは彼を恍惚とさせ ・」 一つくらぬ 一つくらぬ

ラック の個用は 学師に迷ふ者共に本會へ 歌師に迷ふ者共に本會へ 歌師に迷ふ者共に本會へ 歌のたき者者共に本會へ 歌のたき者者共に本會へ のへ五自疆會 に迷ふ者共に本會へ のの周用は

窓出町二人一の際

3)五四六七

電話及金融

金融即時 • 長期秘密電話の御相談は最も信用ある

すると、靖立の手が、とつ いがうえを向き、弾丸は、が うせんと反響して、天井に登 うせんと反響して、天井に登 と、たゞ曳きづられるやうにシャルバンテイエは、茫然 

れで鞭繩のやうにかるへてゐれで鞭繩のやうにかるへてわれて



車發着

日来内 町 電3 四五〇一番 編附添綿家改編第 集 中央看護編會 第 中央看護編會





平野工

